

令和7年度 事業報告書

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

公益財団法人 仏教伝道協会

公益財団法人仏教伝道協会

令和7年度事業報告書

公益財団法人仏教伝道協会は、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的とし、定款に定める事業にそって各種事業を推進して参りました。

については、定款に定める事業に沿って「令和7年度事業報告」を致します。

令和7年4月1日より令和8年3月31日に至る公益財団法人仏教伝道協会の事業ならびに重要事項は次の通りである。

1. 公益目的事業報告（公1）

1. 趣旨（目的）まとめた理由

仏教典籍の現代語訳、外国語訳を行いその刊行、普及事業や仏教関連の各種講座、研究会の開催による仏教精神の啓蒙活動、さらに仏教音楽祭などによる仏教文化の興隆と継承活動、また仏教精神、学術、文化の振興に積極的に関わってきた個人、団体への顕彰・助成等いろいろな支援事業を通して、世界中の一人でも多くの人に仏教を理解して頂き、豊かな人間性を育て、より良い社会の形成促進をもって人類の幸福と世界平和の実現という共通の目的達成の手段であり、下記の2-1) から2-3) までの事業はつながりのあることから一つにまとめている。

2. 事業

2-1) 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業

1. 仏教聖典の現代語訳、外国語訳刊行、頒布事業に関する事項

◇「仏教聖典」各国語訳とその出版について

全世界に仏教思想を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳を進めている。令和7年度は、「和文仏教聖典」改訂版に沿った内容とするため、AIを使用した下訳を基に「仏教聖典」英語版の改定翻訳作業を進めている。なお、訳文は5月末日までに完成する予定である。

◇「仏教聖典」のホテル普及について

「仏教聖典」を世界の主要ホテルの客室に寄贈する運動を推進し、国内のホテル9軒、海外のホテル16軒より新規申し込みを受けた。

新規・補充を合わせた日本からの令和7年度の寄贈冊数は、国内3,430冊、海外755冊であった。海外協力機関からの寄贈も含めたホテル累計寄贈数は65ヶ国、15,892軒・4,190,874冊に至った。

◇「仏教聖典」の教育機関等への普及について

仏教的情操教育を推進するための教育機関等への仏教聖典頒布活動は、令和7年度、大学・短期大学31校、中学校・高等学校34校、保育施設88園を中心に行い、総計で20,197冊を寄贈した。平成24年度からの頒布開始以来、14年間の寄贈数累計は約566,000冊、寄贈先は全国の仏教系大学・高校の約70%に達している。また、名入れ印刷をした『和英対照仏教聖典』等を入学・卒業記念品として11,322冊販売した。

◇インターネットでの「仏教聖典」頒布について

より多くの方がたに、母語で仏教聖典に触れていただくために平成31年3月より各国語仏教聖典のPDFデータをホームページに掲載し、全世界からのダウンロードが可能となった。令和7年度も世界68ヶ国からさまざまな言語の聖典が8,545件ダウンロードされ、これまでの総ダウンロード数は47,931件となった。

また令和7年度は「仏教聖典」電子書籍版190冊、オーディオ版「仏教聖典」13冊を販売した。

◇仏教聖典インド現地印刷・頒布について

マラーティー語「仏教聖典」をインド・ナーグプールにて10,000冊印刷し、令和7年10月1日から7日にかけて、現地僧侶協力のもと協会職員も立ち合い、ナーグプールの仏教寺院・学校・病院などへ寄贈した。

◇聖典ボランティアによるホテルへの寄贈活動の推進について

令和3年度より地域に根差した布教活動を実施している全日本仏教青年会のメンバー等に「聖典ボランティア」として仏教聖典のホテルへの寄贈活動の支援者として参画を依頼している。すでに47都道府県93名が登録され、活動支援を継続いただいている。

◇『さどりの知恵を読む—仏教聖典副読本』頒布について

大学・高校等の教育現場で好評な『さどりの知恵を読む—仏教聖典副読本』の普及活動を行い、令和7年度は22,992冊を寄贈した。平成28年度からの頒布開始以来、教育機関への10年間の寄贈数累計は約255,000冊に達した。また全国寺院や書店などに1,622冊を販売した。

◇『ブッダのおしえ』普及について

「仏教聖典」の一部を抜粋、編集した小冊子『ブッダのおしえ』は、外国人観光客に日本仏教を紹介するツールとして好評を博している。令和7年度は全国の有名観光寺院やミュージアムを中心に、日本語版約29,000冊、各国語版約22,000冊を寄贈した他に、日本語版・英語版合計で約5,000冊を販売、合計56,000冊を頒布した。

平成23年からの累計寄贈冊数は海外印刷分を含め約1,470,000冊となった。

2. 英訳大蔵經の刊行、頒布事業に関する事項

欧米をはじめとする英語文化圏にも仏教の真髄を理解していただくため、「集大成された仏典」である『大正新脩大蔵經』の英訳刊行事業を当協会と米国仏教伝道協会の共同事業として、第1期分139典籍の刊行を進めている。

令和7年度は『梵語雑名』『観無量寿經疏』等の翻訳を受領した。

また『十住毘婆沙論(2)』『摩訶止観(1)』『摩訶止観(2)』を10月に刊行した。

現在までに部分受領典籍を含めた102典籍を74巻の「英訳大蔵經」として出版し、19典籍が翻訳進行中である。

◇「英訳大蔵經」テキストTEI化について

TEI(Text Encoding Initiative)とは人文学資料デジタル化の世界基準で、テキストのメタデータをインターネットで効率的に共有する規格である。この基準に準拠した英訳大蔵經のデータ作成を行うため、SAT大蔵經テキストデータベース研究会、人文情報学研究所の協力のもと作業を進めている。令和7年度は『首楞嚴三昧經』『文殊師利問經』等6典籍のTEI化を終了した。

3. その他仏教書籍の出版、頒布事業に関する事項

◇「一日一訓カレンダー」と解説書「みちしるべ」普及について

仏教の精神文化の裾野を広げるため「一日一訓カレンダー」とその解説書を制作、全国の寺院、学校、保育園等に頒布している。

令和7年度は、「一日一訓カレンダー」六波羅蜜シリーズ6冊目の『智慧』を刊行。111,000部を頒布した。また、カレンダー解説書—みちしるべ『智慧—道理を見極める—』（執筆者 平岡聡氏、千葉公慈氏、露の団姫氏）を教化教材として刊行し、約23,000冊を全国の寺院に頒布した。

◇「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト及び写真展について

写真を通してより多くの人びとに仏教に親しんでいただくため、仏教にちなんだ文言に合う写真を一般公募する「第12回ほとけの心フォトコンテスト」を開催した。令和7年2月から令和7年8月末までの応募期間中に510件2,280枚が集まり、令和7年9月18日にフォトコンテスト選考委員会を開催。厳正な審査の上、入選作品32点を選定した。また入選作品を掲載した写真集冊子を令和8年3月に刊行した。

また「第11回フォトコンテスト入選作品の写真展」を宮城の瑞巖寺（令和7年4月11日-5月26日）、京都の平等院（令和7年5月29日-9月7日）、東京の築地本願寺（令和7年9月12日-11月6日）にて開催した。

平等院の写真展では、開催期間中の6月27日に、展示パネルの文言の揮毫を依頼している書家 鈴木猛利氏による「書道パフォーマンス」を披露した。

令和7年度は3会場合わせて期間中、90万9,816人が来場、入選写真と文言の書を鑑賞した。

◇『とってもやさしい はじめての仏教』普及について

初心者向けに仏教の歴史や宗派、仏教用語などを簡潔に解説した冊子『とってもやさしい はじめての仏教』であるが、令和7年度は海外協力機関、寺院やミュージアム、観光案内所などに和文41,736冊と、英訳版・中国語繁体字版・中国語簡体字版・スペイン語版 23,709冊を寄贈した。また、日本語版 英語版6,390冊を販売、合計71,885冊を頒布した。平成27年度からの累計頒布冊数は約1,052,000冊となった。また日本語版・英語版の電子書籍を無償公開しているが、令和7年度には1,797件がダウンロードされ、累計ダウンロード数は13,890件となった。

2-2) 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業

1. 留学生奨学金制度に関する事項

◇外国人留学生奨学金制度について

日本で仏教学研究を希望する外国の学者・研究者または学生に対して、外国人留学生奨学金交付制度を設けている。

令和7年度はBo Pang氏（ボン・ハク氏、中国国籍、東京大学）、Amina Sabyr氏（アミナ・サビール氏、カザフスタン国籍、広島大学）の2名に奨学金支給を実施した。

また、令和7年度は令和8年度奨学生募集のため、メール等を通じて海外の大学や研究機関を中心に留学生奨学金応募要項を送付し、またホームページでの一般公募に合わせて16名の応募があり、令和7年10月2日に開催された仏教学者からなる外国人留学生奨学金審査委員会の公正な審査により、Jacob Mortimer氏（ジェイコブ・モーティマー氏、英国国籍、京都大学）、Shaashi Ahlawat（シャシー・アフラワット氏、インド国籍、三重大学）の2名を選出した。

◇日本人留学生奨学金制度について

海外の大学や研究機関にて仏教精神とその文化を学ぶ、日本人の学者・研究者または学生に対して日本人留学生奨学金制度を平成25年度から設けている。

令和7年度は中山慧輝氏（ドイツ・ライプツィヒ大学、3年目・3年留学）、伊集院葉氏（オーストリア・ウィーン大学、6ヵ月留学）への奨学金支給を実施した。

また令和7年度は令和8年度奨学生募集のため、国内の大学や研究機関へ留学生奨学金募集開始のご案内およびポスターを約230通送付、またホームページでも一般公募し、結果3名の応募があり、令和7年10月2日に開催された仏教学者からなる日本人留学生奨学金審査委員会の公正な審査により、小谷昂久氏（ネパール・カトマンズ大学、3年留学）、横山啓人氏（オーストリア・科学アカデミー、6ヵ月留学）の2名を選出した。

◇「奨学生交流会」開催について

来日中の外国人奨学生およびその指導教授、これから留学する、または既に留学を終え帰国した日本人奨学生など開催時に日本に滞在している奨学生(元奨学生を含む)を対象に、奨学金審査委員会のご同席のもと、互いの研究内容を共有し、交流を深めていただく目的で「奨学生交流会」を開催している。令和7年度は4月18日に開催し、前半は奨学金制度の実績紹介と奨学生による研究発表を行い、後半は奨学生、指導教授、委員、事務局計14名が出席し、懇親会を開催した。

2. 顕彰事業に関する事項

国内外を問わず、仏教に関わる幅広い分野で貢献された方がたの功績を讃え、長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった個人または団体に「仏教伝道文化賞」を、また今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる個人または団体に「仏教伝道文化賞沼田奨励賞」を贈呈する仏教伝道文化賞の表彰事業を行っている。

令和7年度は、4月下旬より仏教各宗派本山、仏教会、仏教系学校、海外各仏教宗派教団本部等に約200通の推薦依頼書を送付、ホームページでも周知を図り、仏教伝道文化賞に23通、沼田奨励賞に13通の推薦書を受領した。

この推薦書をもとに、令和7年7月24日、仏教伝道文化賞選定委員会を開催し、それぞれ下記の1名に賞を授与する事を決定、令和8年3月16日、第59回仏教伝道文化賞贈呈式を挙行し、賞金と記念の盾を贈り表彰した。

各受賞者名、受賞理由は次の通り。

・ 仏教伝道文化賞（賞金500万円）

受賞者：河野太通氏(臨濟宗妙心寺派 元管長)

受賞理由：戦没者慰霊やアジア諸国との交流を通じ、禅の精神と平和の尊さを国内外に発信。

・ 沼田奨励賞（賞金300万円）

受賞者：雄谷良成氏(社会福祉法人佛子園 理事長)

受賞理由：障害や世代、国籍を超えた共生のまちづくりと多様な福祉事業を展開。

3. 助成事業に関する事項

当財団の事業目的と同じ目的を持ち、その活動を積極的に展開している個人及び団体を選定し、当財団の目的とする事業実現のため国内外で助成支援を行っている。令和7年度は、令和7年1月13日（火）に開催された助成金審査委員会の決定に基づき、以下の法人・団体に対して、国内17,100,000円、海外SG\$1,250、NT\$250,000、THB100,000、£8,200、€5,400の助成を実施した。

助成先法人・団体

〈A. 沼田仏教講座新規開設及び運営維持助成金〉

※申請無し。

〈B. 海外協力機関活動支援助成金〉

アジア仏教伝道協会、台湾仏教伝道協会、タイ仏教伝道協会

〈C. 団体支援助成金〉

日本印度学仏教学会、特定非営利活動法人鎌倉てらこや、
公益財団法人中村元東方研究所、特定非営利活動法人全国てらこやネットワーク

〈D. 事業支援助成金 - D-1. 仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動〉

公益財団法人全国教誨師連盟、H1法話グランプリ実行委員会、
一般財団法人お寺と教会の親なきあと相談室、
第47回全日本仏教徒会義大阪大会実行委員会、
公益社団法人シャンティ国際ボランティア会、
The Buddhist Society（ロンドン仏教会）

〈D. 事業支援助成金 - D-2. 仏教学術振興活動〉

龍谷大学龍谷ミュージアム、公益財団法人日独文化研究所、
ハワイ仏教文化財研究会、
日本仏教看護・ピハラー学会 第21回年次大会実行委員会、
Numata Center for Buddhist Studies(ハンブルク大学沼田仏教学センター)

〈D. 事業支援助成金 - D-3. 仏教文化財保護活動〉

※申請無し。

〈国内・継続分〉

東京藝術大学大学院

2-3) 仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動と支援事業

1. 啓蒙活動としての仏教関連講座、セミナー、研究会等の運営に関する事項

◇仏教を英語で学ぶ会について

一般の方々に、英語を通して仏教精神を学んでいただくことを目的とし、平成23年9月より月1回「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を開催。平成28年度からは英語で仏教を説明できる人材を育成することを目的として「仏教英語ガイド」プログラ

ムとして講座を実施してきたが、令和5年度より、より幅広い人達に英語を通した仏教との出会いを提供するため、3名の講師によるチェーンレクチャー講座としてリニューアルを行った。令和7年度も同形式にて開催し、各講師には異なるテーマで講義していただき、仏教の始まりから日本仏教までを網羅できる講座とした。参加者の内訳は次の通り。

PART1からPART3まで通年申込み：会場12名、オンライン45名。

Part1のみ申込み：会場5名、オンライン15名。（通年、PART1のみ合計77名）

PART2のみ申込み：会場3名、オンライン14名。（通年、PART2のみ合計74名）

PART3のみ申込み：会場10名、オンライン8名。（通年、PART3のみ合計75名）

令和7年度の概要は以下の通り。

日程	テーマ	講師名
PART 1 第1回 4月24日（木） 第2回 5月29日（木） 第3回 6月26日（木）	英語で仏教入門 仏教の基本 仏教の修行 仏教の思想と解脱	Alexander O'Neill 氏 （武蔵野大学講師）
PART 2 第1回 7月31日（木） 第2回 8月28日（木） 第3回 9月25日（木）	華開く大乘 インドから東アジアへ 大乘経典の出現 法界縁起の世界 天空の菩薩たち	伊藤 真 氏 （東洋大学・大正大学など非常勤講師 / 親鸞仏教センター 嘱託研究員 / 翻訳家）
PART 3 第1回10月10日（木） 第2回11月14日（木） 第3回12月12日（木）	英語で学ぶ日本仏教 平安仏教における諸問題 最澄と空海 平安仏教から鎌倉仏教へ	Matthew McMullen 氏 （南山宗教文化研究所 第一種研究所員 / 南山大学准教授）

◇実践布教研究会について

日本仏教の祖師がたが歩まれた道を、現代に生きる僧侶たちが、「聞・思・修」一体となった仏道を自ら体験することによって、仏教の現代的理解の促進、ならびに各宗派僧侶間の交流を推進すべく、各宗派の本山を会場に毎年1回2泊3日にて実践布教研究会を開催している。

令和7年度は6月10日～12日の間、伝道者としてのあるべき姿を研鑽すべく、「臨済禅師の仏道～禅の教えに学ぶ」をテーマに掲げ、臨済宗方広寺派大本山方広寺（静岡県）を会場に「第53回実践布教研究会」を開催、宗派を超えて僧侶・寺族ら33名が参集した。

開講式では臨済宗方広寺派管長安永祖堂猊下より励ましのお言葉を頂き、その後巨島善道教学部長による坐禅指導を受けた。二日目は柳幹康氏、臨済宗円覚寺派管長横田南嶺猊下の講義、安永祖堂猊下による提唱を受講。その後、法山高秀宗務総長の案内で諸堂拝観等をし、研鑽を積んだ。分科会では「AI時代の布教伝道」というテーマで参加者同士、意見を交わし、充実した研究会となった。

◇仏教聖典を生活に活かす会について

仏教精神を日常生活に活かすことを目的として、「仏教聖典」を基本教材に、「仏教聖典を生活に活かす会」を開講してきたが、令和7年度は休会した。

◇仏教聖典を経営に活かす会について

仏教精神を学び事業経営や仕事に活かし、また人生の道標の一助とすることを目的とし、「仏教聖典」を基本教材に、「仏教聖典を経営に活かす会」を開講してきたが、令和7年度は休会した。

◇BDK仏教ヨガ講座について

一般の方がたを対象に、日常生活の忙しさから離れて身体と心の健康を養うことを目的に、平成27年4月より月1回（毎月第1水曜日、午後7時から午後8時30分まで）「仏教ヨガ講座」を開催している。講師は高野山真言宗の僧侶でヨガインストラクターのMOMO氏に依頼し、仏教の法話とヨガの実践、瞑想を交えた講座を会場参加、オンライン参加同時にて開催した。

令和7年度は4月から翌年3月まで開催し、のべ参加人数は会場参加279名、オンライン参加162名。なお令和7年度より設立60周年を機に、仏教を通じてこことからだの健康を考える「ウェルネスプロジェクト」を開始。本講座もその一環としている。

◇「イチから学ぶ日本の仏教」について

平成28年度より一般の方がたを対象に、日本仏教の宗派を毎月ひとつ取り上げて各宗派の基本的な教えや宗祖や著名な僧侶について解説する、仏教初心者講座「イチから学ぶ日本の仏教」を開講している。

令和5年度は大阪、令和6年度は名古屋でそれぞれ会場を設定し、会場近郊の方々に来場いただいた。令和7年度では仙台駅近くの貸し会議室を会場に設定し、主に東北エリアの方々を対象に開催した。会期は4月から12月までの全8回（午後6時30分から午後8時30分まで）。

令和7年度ののべ参加人数は会場参加160名、オンライン参加492名であった。

令和7年度の開講概要は以下の通り。

開催日程	宗派	講師名
4月22日（火）	天台宗	小野常寛氏（天台宗普門寺住職）
6月3日（火）	真言宗	小池陽人氏（真言宗須磨寺派須磨寺寺務長）
6月24日（火）	浄土宗	東海林良昌氏（浄土宗雲上寺住職）
7月29日（火）	浄土真宗	杉浦道雄氏（真宗大谷派称名寺住職）
8月26日（火）	時宗	渋谷真之氏（時宗長徳寺住職）
9月30日（火）	日蓮宗	小山田和正氏（日蓮宗法永寺住職）
11月4日（火）	臨済宗	星大晃氏（臨済宗妙心寺派善應寺住職）
12月2日（火）	曹洞宗	千葉公慈氏（東北福祉大学学長）

◇特別坐禅会について

一般の方がたを対象に坐禅とヨガのワークショップ、精進料理を体験しながら仏教を学ぶ「特別坐禅会」を平成28年から7回にわたり開催してきた。8回目となる令和7年度は8月30日（土）から31日（日）に曹洞宗大本山永平寺にて開催した。ヨガ指導は綿本彰氏に依頼した。参加者は2日間にわたりヨガ、ヨガと仏教の関係についてのお話、坐禅、精進料理を体験した。参加者は40名。

◇ラジオ番組「笑い飯哲夫のサタデーナイト仏教」について

若年層へのアプローチと仏教伝道協会の知名度の拡大をはかるため、関西圏をカバーするFM大阪にて、ラジオ番組「笑い飯哲夫のサタデーナイト仏教」の放送を平成30年6月より開始し、令和2年度からは放送時間を5分から15分（毎週土曜日24時15分～24時30分）に拡大し令和7年度も継続した。偶数月は僧侶、奇数月は著名人等をゲストに招き、様々な角度から仏教を取り上げた。Xを中心にしたSNSを通じて口コミが広がり番組の認知度がさらに向上した。令和5年度よりポッドキャストの配信プラットフォーム数を増やし、令和6年度からYouTube配信を開始した。海外を含めて全国から多くのメッセージが寄せられ、好評を得ている。

◇「輝け！お寺の掲示板大賞2025」について

寺院に設置されている掲示板の標語を撮影して、インターネットのSNS（XやInstagram）に投稿してもらい、反響等を参考にしながら大賞を決定する「輝け！お寺の掲示板大賞2025」を開催した。第8回目を迎えた令和7年度は7月1日から9月30日まで作品を募集。今回も投稿された作品がテレビ・ラジオ・週刊誌など数多くのメディアに取り上げられ、約3ヶ月の応募期間の間に総計3,408作品が集まった。今回の大賞は浄土真宗本願寺派顯照寺の掲示板（標語内容「自分ファーストという貧しさ」）が選ばれた。

◇「こころを豊かにする精進料理教室～食を通じて仏教を学ぶ」について

令和7年度も前年度の開催に続き、食を通じて気軽に一般の方がたに仏教文化・精神に親しんでいただく目的で全2回開催した。前後半2時間のプログラム構成で、前半は、僧侶による「精進料理とは」の法話を聴き、僧侶考案の精進料理・スイーツレシピ3品について、各レストラン料理長による調理の実演を見学し、試食を交えながら学んだ。後半は、僧侶より食事に対する心構えについてお話をいただき、椅子坐禅などで心を調べ、前半で習ったレシピにプロのアレンジを加えた創作精進料理・スイーツコース、を実食した。全2回でのべ37名が参加。

令和7年度の開催概要は下記の通り。

	開催日	内容・講師名
1	令和8年 1月24日（土）	精進スイーツアフタヌーンティー・悩み相談 木原祐健氏（浄土真宗本願寺派光明寺衆徒） 境田剛樹氏（中国料理三田菩提樹料理長）
2	令和8年 2月21日（土）	精進料理コース・椅子座禅 秦崇志氏（黄檗宗宝善院副住職） 杉山稔氏（東京グランドホテル料理長）

◇エンジョイカバディ！について

令和7年度、設立60周年を機に、仏教を通じてこころとからだの健康を考える「ウェルネスプロジェクト」を開始。その一環として、心と体の健康に着目し、スポーツを通じて仏教精神をより身近に感じてもらう為の企画として、インドの国技で仏教とも深い歴史的つながりをもつスポーツ“カバディ”の体験会「エンジョイカバディ！」を開催した。令和7年度は5月25日、9月28日、11月16日、2月7日、3月8日の5回、僧侶であり自身もカバディプレイヤーである浅草寺善龍院住職の清水谷尚順氏を講師に迎え、浅草小学校体育館（台東区）等を会場として開催した。小学生から50代まで幅広い層が参加。のべ参加人数は49名。

◇ウェルネスプロジェクト「死」について考えるシンポジウムについて

令和7年度、設立60周年を機に、仏教を通じてこころとからだの健康を考える「ウェルネスプロジェクト」を開始。その一環として、「死」について学びを深め、よりよい生き方を考えるきっかけを提供するため、登壇者、参加者ともに「死」について考えことができるシンポジウムを3回開催した。全3回でのべ会場71名、オンライン200名が参加した。各回の開催概要は下記の通り。

	開催日	内容・講師名
1	7月25日（金）	「死んだらどうなる？ 宗教の視点から」 池田奈津江 氏（弥生神社権禰宜） 長谷川（間瀬）恵美 氏（桜美林大学准教授） 高瀬顕功 氏（大正大学准教授）
2	11月28日（金）	「もう一度会いたいと思ったときに」 高木慶子 氏（上智大学グリーンケア研究所名誉所長） 坂口幸弘 氏（関西学院大学教授） 高瀬顕功 氏（大正大学准教授）
3	令和8年 3月27日（金）	「いのちを選ぶということ」 小林亜津子 氏（北里大学教授） ジェシー釋萌海 氏（真宗大谷派高雲寺住職） 高瀬顕功 氏（大正大学准教授）

◇Tokyo Temple Runについて

令和7年度、設立60周年を機に、仏教を通じてこころとからだの健康を考える「ウェルネスプロジェクト」を開始。その一環として、東京都港区内の寺院をチェックポイントとして僧侶ランナーの先導で走ってめぐる「Tokyo Temple Run」を令和8年3月7日に開催した。

講師に小松祐嗣氏（日蓮宗総本山身延山久遠寺宿院武井坊住職）を迎え、走る前の心構えを聞き、仏教伝道センタービルを帰着点としてチェックポイントとして設定した浄土宗大本山増上寺、浄土真宗本願寺派光明寺、高野山真言宗総本山金剛峯寺東京別院、曹洞宗泉岳寺の計4ヶ寺を訪れながら計10kmを走破。各チェックポイント間にも多くの寺院が点在する港区の新たな魅力を発見する機会となった。参加人数は21名。

◇花まつり2025について

令和4（2022）年より仏教伝道協会の花まつり企画として、（公財）全日本仏教会が主催する「花まつりデザイン募集」の入選作品を仏教伝道センタービル1階ロビーに展示している。

令和7年度は令和7年3月21日から4月8日まで、「第8回花まつりデザイン募集」の入選作品の原画20点を展示し、（公社）全日本仏教婦人連盟より提供の「花の種」、大和証券株式会社より提供のポスター大賞作品がパッケージに印刷された「サクマドロップス」を配布した。

◇願いの一字コンテスト2026について

新年の願いを漢字一字に込めて応募するコンテストを昨年引き続き開催（公募期間：令和7年10月15日～12月15日）。

応募総数76件61文字の中から今回は、心のしなやかさと調和の大切さを社会に伝えたいと願い「柔」の一字を選定し、漢字の発表は令和8年1月5日、中村瑞貴 増上寺執事、伊與田兼行 全日本仏教会社会・人権部部長ご臨席のもと、大本山増上寺大殿前（東京都港区）にて書家 鈴木猛利氏により揮毫。当日16時まで増上寺境内に展示し、その後仏教伝道センタービルに展示。

◇設立60周年記念シンポジウム「だいすき仏教」について

令和7年は当法人の設立60周年にあたり、記念行事の一環として、広く一般に仏教の魅力を提示、再発見してもらうことを目的に設立60周年記念シンポジウム「だいすき仏教」を開催した。会場226名、オンライン131名が参加した。

開催概要は次の通り。

開催日時：2025年9月27日（土）17時30分から20時30分まで

開催会場：築地本願寺本堂

テーマ：だいすき仏教

特別講演：「修行をしない私たちの仏教」 古館伊知郎氏

パネルディスカッション： 「私が仏教にホレた理由」

釋徹宗氏（宗教学者、僧侶）、伊藤比呂美氏（詩人）、

中島岳志氏（政治学者、歴史学者）

2. 仏教音楽の現代化とその普及事業について

伝統的宗教音楽を継承すると同時に、仏教音楽の現代化を進め、広く仏教精神とその文化に親しんでいただくことによって、仏教的基盤を確立することを目的に、昭和52年以来、仏教音楽にちなんだコンサートや新しい仏教音楽の作品募集などを不定期で行っている。

令和7年度は、築地本願寺のパイプオルガン建替えプロジェクトを重点事業として推進した。令和7年4月15日、音楽普及委員会を開催し、オルガン活用の企画等について協議した。令和7年11月5日、築地本願寺に設置を完了し、上納式を挙行了した。

令和8年1月30日には「パイプオルガン ニューイヤーコンサート」を開催。第一部では、初代オルガンでは演奏が難しかったオルガン音楽を演奏。第二部ではゲームのテーマ曲など親しみのある楽曲、第三部は仏教讃歌で演奏した。昼の部、夜の部の2回公演とし、合わせて約1,300名が来場、充実したプログラムとなった。

出演者は次の通り。

オルガン演奏：中野ひかり 氏、英貴子 氏、板垣敬子 氏、新山恵理 氏

声楽：安藤常光 氏、米山茉莉子 氏

合唱：築地本願寺合唱団楽友会

3. 貸し会議室事業に関する事項

◇公益目的事業としての施設の貸与事業について

仏教伝道センタービルの施設を有効活用し、公益目的事業として施設の貸与事業を行っている。当財団が公益財団移行後に公益目的として掲げる“豊かな人間性を育て、より良い社会の形成を促進し、もって人類の幸福と世界平和の実現”に貢献する事を目的とした会議等を開催する公益法人、社会福祉団体、NPO法人、市民団体等を優先し、通常（一般）は3ヶ月前からの予約受付に対し、6ヶ月前から予約を受け付け、通常（一般）価格の半額で貸出し、多くの公益目的事業を側面から支援することによって、社会貢献を果たしている。

令和7年度の会議室の公益目的利用実績（公益財団、公益社団等の使用）は196件であった。

II. 収益事業報告（収1）

◇収益事業としての施設の貸与事業に関する事項

仏教伝道センタービルの施設における公益事業目的で当面使用予定のない空きスペースならびに空き時間は一般に向けて貸与する事業を行っている。

令和7年度の会議室の一般目的利用実績（一般株式会社等の利用）は105件であった。

III. その他の報告

◇設立60周年に関する事項

令和7年は当法人の設立60周年にあたり、公式ホームページに60周年の歩みの振り返りなどを掲載した特設ページを公開した。

また、令和7年10月28日、マンダリンオリエンタル東京にて設立60周年記念「感謝の会」を挙行。各仏教宗派、団体、取引先等、関係各位約200名の出席をいただいた。

IV. 運営体制の充実を図るための取り組みについて

公益法人として自律的ガバナンスの充実、透明性の向上の観点から、公益法人の運営や令和6年新会計基準に準拠した計算書類等の作成、内閣府定期提出書類の作成に関するセミナーを職員の一部が受講した。また、法人として定めている諸規則諸規程のうち、運営体制の充実のために必要な部分を見直し、整備することを検討している。また、経理的基礎を担保するために独立監査人と任意で監査契約を締結し、会計監査報告を受け、適正な情報開示に努めている。

V. 事務報告

1. 役員等に関する事項

理事・監事

(令和8年3月31日現在)

役名	氏名	常勤 非常勤 の別	就任年月日	略歴
会長 (代表理事)	木村清孝	非常勤	令和7年6月24日(再任) 令和7年6月24日 代表理事、会長再任	東京大学名誉教授
理事長 (代表理事)	沼田恵明	非常勤	令和7年6月24日(再任) 令和7年6月24日 代表理事、理事長再任	株式会社ミットヨ 代表取締役会長
理事 (代表理事)	松丸壽雄	常勤	令和7年6月24日(再任) 令和7年6月24日 代表理事、常務理事再任	獨協大学名誉教授
理事	生田忠士	非常勤	令和7年6月24日(再任)	元株式会社ミットヨ 取締役
理事	石井清純	非常勤	令和7年6月24日(新任)	駒澤大学教授
理事	横田南嶺	非常勤	令和7年6月24日(新任)	臨濟宗円覚寺派管長
理事	入澤 崇	非常勤	令和7年6月24日(新任)	学校法人龍谷大学 理事長
理事	阿 純章	非常勤	令和7年6月24日(新任)	圓融寺住職
監事	松村智司	非常勤	令和7年6月24日(再任)	元第一勧業銀行取締役
監事	西本照眞	非常勤	令和7年6月24日(新任)	武蔵野大学教授

※門脇邦彦氏、野村邦武氏、塩入亮乗氏、逸見道郎氏は令和7年6月24日任期満了をもって理事を退任。中野東禅氏は令和7年6月24日任期満了をもって監事を退任。

評議員

(令和8年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	略歴
評議員	中川 徹	非常勤	令和7年6月24日 (再任)	元株式会社ミットヨ会長
評議員	平田史郎	非常勤	令和7年6月24日 (再任)	学校法人平田学園理事長
評議員	吉水千鶴子	非常勤	令和7年6月24日 (再任)	筑波大学名誉教授
評議員	渡邊清春	非常勤	令和7年6月24日 (再任)	株式会社ミットヨ執行役員
評議員	三原正資	非常勤	令和7年6月24日 (再任)	元日蓮宗現代宗教研究所所長
評議員	高山久照	非常勤	令和7年6月24日 (再任)	公益社団法人日本仏教保育協会理事長
評議員	佐藤和敏	非常勤	令和7年6月24日 (再任)	株式会社共生代表取締役社長
評議員	林田康順	非常勤	令和7年6月24日 (新任)	大正大学教授
評議員	松島龍戒	非常勤	令和7年6月24日 (新任)	功德院住職

※西本照眞氏は令和7年6月24日任期満了をもって評議員を退任、同日監事就任。

石井清純氏は令和7年6月24日任期満了をもって評議員を退任、同日理事就任

顧問

(令和8年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	略歴
顧問	松田正典	非常勤	平成25年4月1日	広島大学名誉教授

※菅原伸郎氏は令和7年7月31日ご逝去。

2. 理事会・監事会・評議員会に関する事項

(a) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和7年6月5日（木） （令和7年度第1回通常）	<p>【決議事項】</p> <p>令和6年度事業報告および収支決算報告の件 定款変更案承認の件 諸規則諸規定改定の件 評議員会に提出する役員等候補者承認の件 令和7年度定時評議員会開催の件</p> <p>【報告事項】</p> <p>令和6年度資産運用報告の件 貸金ベースアップの件</p>	<p>可 決 可 決 可 決 可 決 可 決</p> <p>報 告 報 告</p>
令和7年6月24日（火） （令和7年度第1回臨時）	<p>【決議事項】</p> <p>代表理事の選定ならびに会長、理事長、 常務理事選定の件 沼田仏教講座評価委員会設置および 委員会規則改定の件</p>	<p>可 決 可 決</p>
令和7年11月18日（火） （令和7年度第2回通常）	<p>【決議事項】</p> <p>海外協力機関活動支援助成金の件 仏教伝道センタービル建て替え積み立て資金 上限枠引き上げの件 常勤役員特別弔慰金規程改定の件</p> <p>【報告事項】</p> <p>令和6（2024）年度助成金事業実施評価 報告の件 代表理事の職務の執行の状況の報告 諸規則諸規程の改定の報告の件</p>	<p>可 決 可 決 可 決</p> <p>報 告 報 告 報 告</p>
令和8年3月25日（水） （令和7年度第3回通常）	<p>【決議事項】</p> <p>令和8年度事業計画および収支予算書承認の件 役員賠償責任保険契約締結の件</p> <p>【報告事項】</p> <p>代表理事の職務の執行の状況の報告の件 諸規則諸規定改定の件 委員会委員委嘱の件</p>	<p>可 決 可 決</p> <p>報 告 報 告 報 告</p>

(b) 監事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年5月26日(月)	令和6年度財産状況および業務執行状況	正確であることを確認

(c) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和7年6月24日(火) (令和7年度定時)	【決議事項】 定款変更の件 令和6年度事業報告および収支決算報告の件 任期満了に伴う理事改選の件 任期満了に伴う監事改選の件 任期満了に伴う評議員会改選の件 【報告事項】 仏教伝道センタービル建て替え計画に関する件 令和7年度事業計画および収支予算の件 令和6年度資産運用報告と令和7年度資産運用方針および計画の件 貸金ベースアップの件	可 決 可 決 可 決 可 決 可 決 報 告 報 告 報 告 報 告 報 告

以上

令和7年度事業報告 附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和8年6月
公益財団法人仏教伝道協会
代表理事（理事長） 沼田恵明